



2021.4.5

No. 327

MONTHLY

# れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 藤盛敏弘

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 北海道2区補選に勝利し、政権奪回の礎を築こう!

連合北海道は3月23日、政治センター幹事会を開催し、4月に実施される衆議院北海道2区補欠選挙の勝利に向け、組織一丸となって取り組む意思統一を図った。

本年10月に衆議院の任期切れを迎えることにより、次期第49回衆議院選挙はいつ行われても不思議ではない状況にある。

次期衆院選挙は、安倍一強政治の悪しき面をも継承した菅政権を終わらせる選挙としなければならず、その行方を占う上で2区補欠選挙は非常に重要な選挙となることを、連合神津会長、杉山連合北海道会長ともに強調し、松木候補予定者も「政治は働く者のためにある」「期待に応え

るようガンバル!」と挨拶をした。

今次補選は、北海道では初のコロナ禍での選挙となり、これまでとは違い色々な制約を受ける選挙となる。だからこそ、連合北海道に結集する各産別、そして組合員一人ひとりが全力で2区補選勝利に取り組み、第49回衆議院選挙勝利につなげ、「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう。



松木候補予定者

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5484>

### 松木けんこう「しあわせの土台づくり」

新型コロナウイルス感染症によって、国民生活は一変し、雇用や経済に甚大な影響を及ぼしております。新型コロナの感染拡大を防ぐには、政府の力強い支援のもと、国民の皆さまの協力が不可欠ですが、政府は補償無き「要請」を繰り返すばかりで、

国民の不安に寄り添い、応えようとする姿勢が見えません。国民の声に真摯に耳を傾けて対策を進めていけば、救えた命や避けることのできた苦境があったはず。政治の使命は、一人ひとりの国民が求めるそれぞれの幸せを育むための「しあわせの土台」をしっかりとつくることです。あらゆる智慧と力を絞り、全力を尽くして「しあわせの土台」をつくる政治を実現します。

### 北海道2区 -札幌市東区、札幌市北区(一部除く※)- は2017年に選挙区が改定されています

※除かれる地域(下記の地域は、北海道1区になります)

北6条西1丁目～西9丁目まで／北7条西1丁目～西10丁目まで  
／北8条西1丁目～西11丁目まで／北9条西1丁目～西11丁目まで  
／北10条西1丁目～西11丁目まで／北11条西1丁目～西

11丁目まで／北12条西5丁目～西12丁目まで／北13条西5丁目～西12丁目まで／北14条西5丁目～西13丁目まで／北15条西6丁目～西13丁目まで／北16条西6丁目～西13丁目まで／北17条西7丁目～西13丁目まで

## 2021 春季生活闘争・2区補選・総選挙勝利!

## 全道集会をWEB開催し、ヤマ場に向けて意志結集!

連合北海道は3月8日、「2021 春季生活闘争・衆議院北海道2区補選・第49回衆議院選挙勝利!!3.8全道総決起集会」を開催(石狩地協・札幌地区連合共催)し、2021 春季生活闘争のヤマ場(3月15日～19日)と4月13日告示の2区補選、10月までに実施される第49回衆議院選挙勝利に向けて意志結集を図った。全道各地で400人を超える組合員が視聴参加した。

### ■主催者代表挨拶

連合北海道2021 春季生活闘争本部の杉山元本部長(連合北海道会長)は、この20年間で格差拡大、平均賃金

が下がり続けているとして、2021 春季生活闘争では「この危機を乗り越える営みを労使が率先して取り組むことが必要」と述べ、「感染症対策と経済の自律的成長の





働く者が納得できる賃上げを」と求めた。

この他、2月上旬に北海道大学の学生を対象に、一人暮らしの学生等に食の支援をと実施した「ほっかいどう若者応援プロジェクト」の意義や第1弾の取り組み経過を

紹介し、今後、全道展開するにあたって、経済界の理解と協力を求めた。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5423>

## 2021春季生活闘争3.8国際女性デー 全国統一北海道集会を開催

連合では3.8国際女性デーの取り組みを春季生活闘争の一環として位置づけ、全国統一行動を展開している。連合北海道も3月6日WEBにより集会を開催し、8産別3地区のほか、女性委員会を含む42名が参加した。

開会のあいさつでは、連合北海道女性委員会の金子ユリ委員長が「今春闘では、あらゆるハラスメント対策に加えコロナ禍での誹謗中傷等、職場での現状把握と差別禁止の取り組み徹底を訴えている。連合では労働者自身をさす『非正規労働者』という言葉を使用しないなど『非正規』呼称の考え方を示している。同じ職場で働く仲間が雇用形態の違いや女性であることで分断されることのないよう運動をすすめよう」と呼びかけた。

つづいて、弁護士の上田絵理さんから「女性にとっても働きやすい社会へ」と題し、講演していただいた。講演では、コロナ禍での非正規雇用や雇止め、DVをはじめ、選択的夫婦別姓、セクハラなど女性が直面する問題について提起された。日本は、労働力不足を「男性の長時間労働」と「女性の家事・育児」という分業で補うことで経済成長を遂げた成功体験をそのまま引き継いでいる現状があり、女性の非正規労働化が進んだ背景がある。不合理な処遇は法律で判断されるが、すべてが認められるわけではなく、有期雇用の待遇改善を図ることで正規雇用につなげることが、女性の社会進出に大事なポイントであると話された。改めて注目されている選択的夫婦別姓については、夫婦同氏制が合憲としつつも女性裁判官3名から憲法第24条に違反するとの意見が出された最高裁判例があり、実現すればアイデンティティの維持やキャリア形成、氏名変更手続きの緩和が図られること、「家族」尊重を個人に押し付けるような憲法改正草案への懸念などから、一定の形にするためにも早く議論を進めるべきと話された。各種ハラスメントは、法律により規制が強化されてきたが、パワハラや判断基準が難しいことや、親族間のセクハラな



どから、「被害者が声をあげることが苦しい」という新たな問題もある。また、女性特有のマタハラについては、厚生労働省ホームページ「明るい職場応援団」に掲載されている動画が紹介され、職場での理解が進んでいない現状から、気持ちが晴れないまま家庭か職場か選択を迫られている実態が話された。これらの様々な問題は、個人の問題ではなく社会の在り方の問題であり、女性の地位を確立するためにも、今一度社会がどうあるべきかを考えていく必要があるとお話された。

今回の上田絵理さんの講演を通して、私たちが安心して働き暮らすことのできる職場・社会をつくるためにも、声を上げ議論する機会をつくるのが大切だという思いを共有することができた。

国際女性デーには、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに世界各国で様々な行動が展開されている。この集会から全道にむけて、すべての女性たちの権利やはたらく女性の賃金向上が実現されるように、2021スローガン「真の多様性を認め合う！誰一人取り残される事のない『フェアワーク』の実現を！」を掲げ、連合北海道女性委員会としても、今後の取り組みを進めていく。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5445>



### 4月の主な動き

### イベントカレンダー

■15日(木) 13:30/WEB

中央執行委員会

■22日(木) 10:15/ニューオータニイン札幌

第6回執行委員会

■22日(木) 13:00/ニューオータニイン札幌

組織・財政特別委員会第2回小委員会

■22日(木) 14:00/ニューオータニイン札幌

第6回地協事務局長会議